

2021年度

島根大学大学院人間社会科学研究所修士課程

社会創成専攻地域経済コース

(第1次) 入試問題

【 情報経済論 】

(一般入試 A)

注 意

- 1 問題紙 1 ページ, 解答用紙 2 枚, 下書き用紙 2 枚である。
- 2 指示があってから確認し, 解答用紙の所定の欄に受験番号を記入すること。
- 3 解答は, 解答用紙に清書すること。
- 4 問題紙, 下書き用紙は, 持ち帰ること。

以下、2つの問題に答えなさい。解答は解答用紙(問題1と問題2)にそれぞれ1枚ずつ記入すること。

問題1

1990年代中盤のインターネット・ブームはIT関連の産業の勃興を促し90年代後半からはIT革命の加速化と、米国経済の成長が続いた。IT投資と経済成長の関係を実証する論文が次々と発表され、ニュー・エコノミー論と総称されるようになった。このニュー・エコノミー論の特徴点と、経済成長分析における意義・限界について述べよ。

問題2

下写真左はGoogle傘下のDeep Mind社が開発したAlpha GOによるプロ棋士(写真内右)との対局場面と、下写真右は日本で開発された人工知能ポナンザと将棋名人(写真内右)との対局場面である。この二つの写真を比較しながら、米国の情報産業と日本の情報産業の特徴点について述べよ。

(この部分につきましては、著作権の関係により、公開しません。)

NHKスペシャル『人工知能 天使か悪魔か 2016(左) および 2017(右)』より